

地元企業からの協賛金を得て運行する AIオンデマンド交通による地区内交通の 充実・活性化



Profile

会社名（法人等名）、 地方公共団体名等	一般社団法人美園タウンマネジメント
所属部署名 氏名	専務理事 岡本 祐輝
出身地	米国シカゴ生まれ、さいたま市育ち
専門分野	都市計画・まちづくり
所属部署での業務内容	新たなまちづくりの進むさいたま市美園地区において、各種まちづくり・地域活性化プロジェクトの企画立案・試行検証・事業化の推進、およびそうしたプロジェクト群の全体コーディネートを通じて、各事業収益を地域還元・再投資するサイクルの確立を目指しているまちづくり法人「一般社団法人美園タウンマネジメント」の実務統括。
現職に至るまでの経歴	平成 17 年（2005）3 月 東京大学大学院工学系研究科（都市工学専攻）修士課程修了 平成 17 年（2005）4 月～ 建築設計事務所にて計画・設計業務等に 従事 平成 21 年（2009）4 月～ 東京大学先端科学技術研究センター 特 任研究員 平成 23 年（2011）4 月～ 柏の葉アーバンデザインセンター 専任 ディレクター 平成 27 年（2015）7 月～ 現職
担当として関わるきっかけ	各種まちづくりプロジェクトの企画・実践に（職住近接して）携わる中で、地区内交通環境（交通空間・施設・サービス etc）の問題点を（事業者目線のみならず住民目線でも）日々痛感。地域交通課題の解消に向けて、関係者協議等も行いながら地区交通戦略検討プロジェクトやそこから派生したオンデマンド交通サービス実証プロジェクトの構想・企画立案を進め、実施（実践）段階に至るまでを一貫して主導。
プロジェクトに関わった中で 印象的な事例	実証初期には休日（土日祝日）の利用が多い傾向にあったが、徐々に平日の利用が伸び始めた。実証運行の継続や早期実装化を希望する声を直接的に・間接的に（地区内事業者等から聞くユーザーの声）いただく機会も増え、着実に「日常の足」として認知・定着してきているのを感じる。
自由記入欄	サービス実装に向けて解決すべき課題は多いが、利用者からは地域サービスとして非常に好評であり、（当初計画からは多少遅れたとしても）なんとか実装化できるよう尽力していきたい。